

## 都立大戸緑地（仮称）の整備計画

- 1 所在地 町田市相原町字大地沢、段木入、権現谷、牛田、大北、大戸、細豊、恋地、考路各地内
- 2 都市計画決定 昭和 39 年 12 月 16 日 建設省告示第 3358 号  
町田都市計画緑地第 2 号大戸緑地 123.9ha  
(種別：緑地)

### 3 整備計画の概要

#### (1) 経緯

本公園は、平成 2 年度から用地取得を開始し、現在 32.4ha を取得している。平成 17 年度に策定した「都市計画公園・緑地の整備方針」において、丘陵地の保全、水と緑のネットワークの形成を図る観点から重点公園に位置付け、優先整備区域（10.75ha）を設定し、整備を進めていくこととした。なお、平成 15 年度から整備に先立ち樹林地管理等を都民との協働により実施するプレ・パーク事業を行っている。

#### (2) 整備計画策定の方針

「丘陵地の豊かな自然を保全し、自然体験を通じて、都民と共に育む公園づくり」を基本理念とし、自然資源を活かし、都民とともに里山の緑や景観を保全・再生していく、魅力ある都立公園を目指す。

##### ① 自然環境の保全と里山景観の再生

- ・境川源流域に残る貴重な自然環境の保全
- ・希少な動植物の保護・育成
- ・谷戸を中心とした里山景観の再生

##### ② 里山の自然資源を活かした体験学習・野外レクリエーションの場の創出

- ・樹林地管理、農作業などの里山体験
- ・自然にふれあい、生態系や生物多様性について学べる場とする。
- ・多くの都民がハイキングやキャンプなど、自然の中でレクリエーションを楽しめる場の創出

##### ③ 地球環境へ配慮した地域からの取組み

- ・健全な林を育成することで、低炭素型社会に向けた取組みを地域から発信
- ・都民との協働により、豊かな自然環境の保全・回復、人工林の育成等を図り、里山管理はもとより森林再生の重要性を公園から発信

### (3) ゾーニング計画

整備計画策定の方針を踏まえ、5つのゾーンを設定する。

#### ① 保全活動拠点ゾーン

- ・大戸緑地の自然環境を豊かにし、里山の緑と景観を保全・再生していくための活動拠点ゾーンとする。
- ・ボランティア活動や環境学習の場として、講習室機能を持った施設を配置する。
- ・希少植物の保護・育成を図るための施設を配置する。

#### ② 谷戸の水辺ゾーン

- ・谷戸の自然と景観を保全するゾーンとする。
- ・沢沿いに残された貴重な動植物の生息・生育環境を保全する。
- ・新たな水辺環境を創出し、埋立てられた谷戸を再生して生物多様性を高め、環境学習の場として活用する。

#### ③ 里山体験ゾーン

- ・人々の暮らしの中で維持されてきた里山景観の再生を図るゾーンとする。
- ・既存の農地（営農・農的生活）と周辺樹林地を一体として活かしながら、都民との連携により里山の景観を再生し、樹林の管理や農作業などを体験できる場とする。

#### ④ レクリエーションゾーン

- ・多様な野外レクリエーションの拠点ゾーンとする。
- ・町田街道からのアクセスの良さと平坦地、緩斜面地の広がりを活かして、多くの都民が、キャンプやバーベキュー等を楽しめる施設を配置する。その運営にあたっては、農家や酪農家等と連携し、地域の恵みを楽しむことができる場とする。
- ・野外レクリエーション施設の受付や展示機能など様々なサービスを提供する管理所を配置する。
- ・花の名所となるよう、ヤマザクラなどを植栽する。

#### ⑤ 樹林地保全ゾーン

- ・都民・企業等との協働により樹林地の健全な育成を図り、大戸緑地の骨格を形成するゾーンとする。
- ・尾根線の眺望の良い箇所には、展望広場を設置する。

#### ●動線

- ・既存のハイキングルートを活用すると共に、関東ふれあいの道など自然公園施設との連続性や、広域的利用にも配慮して利用者にわかりやすいサインを工夫する。また、鑑賞価値の高い郷土種の花木等を植栽し、特色ある園路を整備する。

#### ●管理運営

- ・整備や管理運営にあたっては町田市施設（大地沢青少年センター）との連携を図るとともに、地域や都民との協働に積極的に取り組む。
- ・整備計画策定の方針に基づいて、貴重な植物種の保護および里山景観の保全・再生を図るため、植生調査等の結果を踏まえた上で別途「植生管理方針」を定め、適切な保全管理を行う。

# 大戸緑地（仮称）ゾーニング図

## ①保全活動拠点ゾーン

- ・大戸緑地の自然環境を豊かにし、里山の緑と景観を保全・再生していくための活動拠点ゾーンとする。
- ・ボランティア活動や環境学習の場として、講習室機能を持った施設を配置する。
- ・希少植物の保護・育成を図るための施設を配置する。

### 【主要施設】

保全活動拠点施設、野草の大群落地、苗圃、草地広場、四阿、駐車場、便所

## ②谷戸の水辺ゾーン

- ・谷戸の自然と景観を保全するゾーンとする。
- ・沢沿いに残された貴重な動植物の生息・生育環境を保全する。
- ・新たな水辺環境を創出し、埋立てられた谷戸を再生して生物多様性を高め、環境学習の場として活用する。

### 【主要施設】

池・水路・湿地、草地広場、四阿、駐車場、便所

## ③里山体験ゾーン

- ・人々の暮らしの中で維持されてきた里山景観の再生を図るゾーンとする。
- ・既存の農地（営農・農的生活）と周辺樹林地を一体として活かしながら、都民との連携により里山の景観を再生し、樹林の管理や農作業などを体験できる場とする。

### 【主要施設】

畑・田、里山体験活動拠点施設、草地広場、四阿、駐車場、便所

## ④レクリエーションゾーン

- ・多様な野外レクリエーションの拠点ゾーンとする。
- ・町田街道からのアクセスの良さと平坦地、緩斜面地の広がりを活かして、多くの都民が、キャンプやバーベキュー等を楽しめる施設を配置する。その運営にあたっては、農家や酪農家等と連携し、地域の恵みを楽しむ場とする。
- ・野外レクリエーション施設の受付や展示機能など様々なサービスを提供する管理所を配置する。
- ・花の名所となるよう、ヤマザクラなどを植栽する。

### 【主要施設】

キャンプ広場、オートキャンプ広場、管理所、冒険広場、四阿、駐車場、便所

## ⑤樹林地保全ゾーン

## ②谷戸の水辺ゾーン

## ③里山体験ゾーン

## ①保全活動拠点ゾーン

## ④レクリエーションゾーン

大地沢青少年センター  
(町田市社会教育施設)

## ⑤樹林地保全ゾーン

- ・都民・企業等との協働により樹林地の健全な育成を図り、大戸緑地の骨格を形成するゾーンとする。
- ・尾根線の眺望の良い箇所には、展望広場を設置する。

【主要施設】  
展望広場

### 凡例

種別	分類
——	都市計画区域 123.9ha
——	整備計画区域 93.9ha
.....	主要動線
——	境川
●	展望広場
➡	出入口



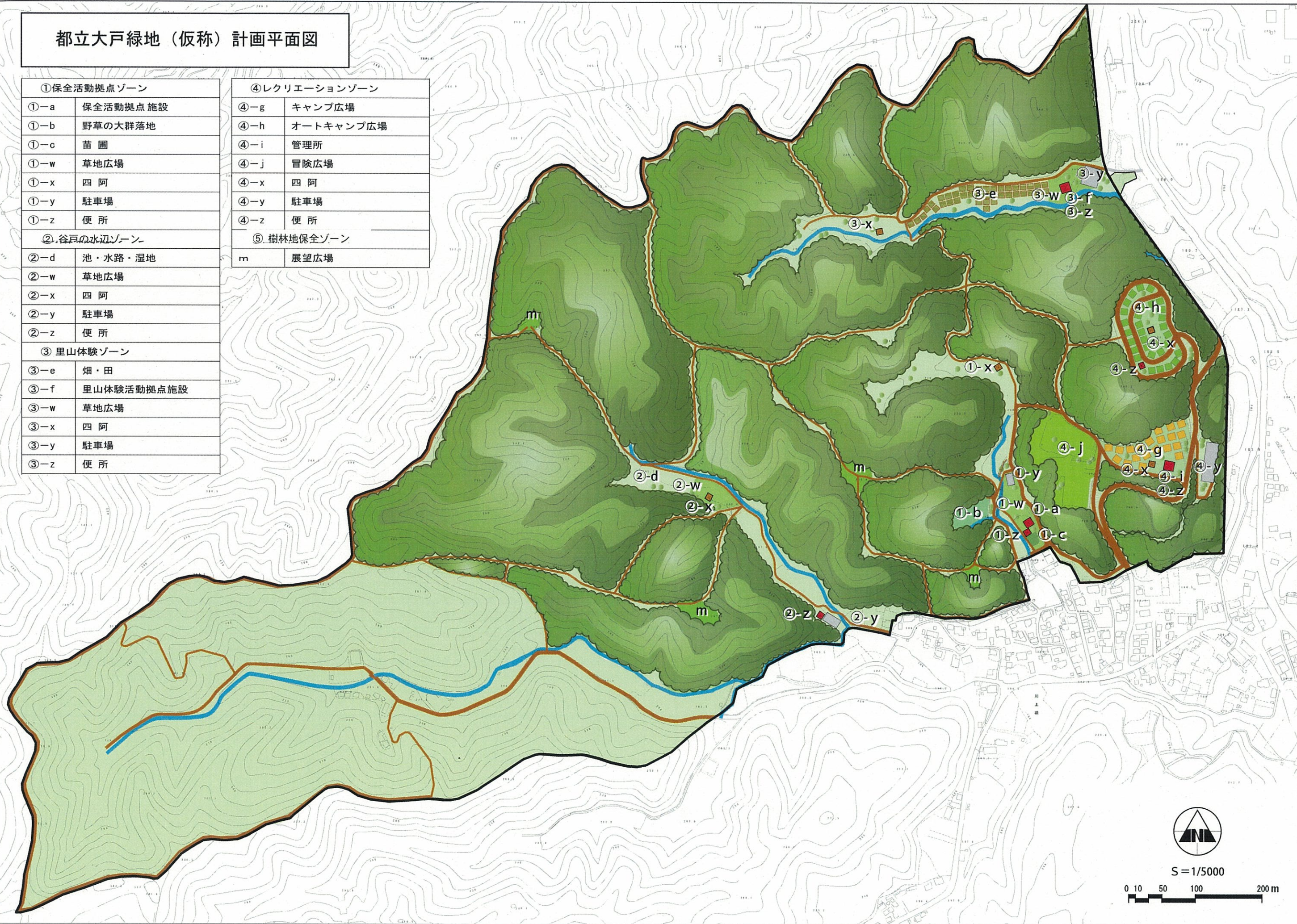
S=1/5000

0 10 50 100 200M

# 都立大戸緑地（仮称）計画平面図

① 保全活動拠点ゾーン	
①-a	保全活動拠点施設
①-b	野草の大群落地
①-c	苗圃
①-w	草地広場
①-x	四阿
①-y	駐車場
①-z	便所
② 谷戸の水辺ゾーン	
②-d	池・水路・湿地
②-w	草地広場
②-x	四阿
②-y	駐車場
②-z	便所
③ 里山体験ゾーン	
③-e	畑・田
③-f	里山体験活動拠点施設
③-w	草地広場
③-x	四阿
③-y	駐車場
③-z	便所

④ レクリエーションゾーン	
④-g	キャンプ広場
④-h	オートキャンプ広場
④-i	管理所
④-j	冒険広場
④-x	四阿
④-y	駐車場
④-z	便所
⑤ 樹林地保全ゾーン	
m	展望広場



S = 1/5000

